

平成 30 年 5 月 14 日

大山町議会議長 杉 谷 洋 一 様

議席番号 15 番 大山町議会議員 西山 富三郎 印



## 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 職員は、地域に出て「わが町」をもっと知ろう（人と人をつなぐ、一緒によろこぶまちづくり）</p> <p>(1) 自治体の職員にとって、地域と向き合い地域を深く認識することは重要である。役場の中にいるだけでは、わからない地域の実態や課題を把握するために地域に出かけて現場から学ぶ姿勢が問われている。地域の人々に寄り添いながら課題を解決するとともに、地域の価値を見出し将来に向けて住民が誇りを持てる地域社会を形成しなければならない。地域の人々は行政の原点を教えてください。</p> <p>どう学んでいるか。</p> <p>(2) 住民って誰、住民の声ってなんだと思うか。天声人語とは。まつりごとは聴くことである。人間は学びつづける存在である。最終学歴（まなび終わり）でなく、最新学習歴（まなびつづける）ことが大切だと思う。日々学習し成長し進歩しなければならない。</p> <p>相手を知り、自分を知る努力を重ねているか。</p> <p>(3) 町民との人間関係に対する影響度は、言語コミュニケーションと非言語（距離、視線、表情、動作、声）がある。</p> <p>笑顔で触れ合う信頼関係を構築しているか。</p> <p>(4) 隣保館（隣保事業）の社会資源の活用、連携・協働、開発は。</p>	<p>町 長</p> <p>教育長</p>



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>2. 自治体にとっての危機とは何か。</p> <p>(1) 民間企業の場合、倒産が最大の危機であるが、自治体の場合は、住民（納税者）からの批判の発生と信頼感の喪失が危機といえる。町長就任以来、1年余り経過している。</p> <p>リーダーシップをどう発揮しているか。</p> <p>(2) 公務員の不祥事に対する対応は。官製談合、汚職、公金の着服、公用車の人身事故、セクハラ等があり「懲りない公務員の不祥事」の見出しで新聞やテレビ等で報道され、国民のひんしゆくを買っている。危機管理の行動範囲を考える場合、重要なポイントは「やるべきこと」と「やってはならないこと」の2つの視点が大事だと言われている。そこで不祥事が発生したときの適正な対応を考えておかなければならない。</p> <p>①不祥事公務員の対応は。</p> <p>②懲戒審査会の指針を職員は十分認識しているか。</p> <p>③報道機関等への対応は。</p> <p>④議会への対応は。軽視にならないように。</p> <p>⑤首長の責任は。</p>	<p>町 長</p> <p>教育長</p>

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

平成30年 5月30日

大山町議会議長 杉谷洋一様

議席番号 3番 大山町議会議員 門脇輝明 印



## 一般質問通告書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60分)

質問事項と要旨	質問の相手
<p>(1) 不適切事務の再発防止について</p> <p>① 現在裁判中の不祥事や昨年度発覚した不適切事務などについて、そのつど原因究明と再発防止を図ることを表明されていますが、再発防止策については、私を含め、十分に町民の理解が得られているとは思えません。平成29年度にどのような対策を実施したのか、具体的にまとめてお示ください。</p> <p>② 町職員がその業務に関連して、各種団体の会計処理を担当する場合がありますが、不祥事に関連して、不適切な処理がなされていました。平成29年度において町職員が取り扱っている町費外会計の件数と平成29年度の収入、支出、残額を把握されていますか。それぞれの数をお答えください。</p> <p>③ 監査委員はその任期4年間は、誰の指揮監督も受けることなく、町長や議員と同じように独立した地位にあつて、町の財務及び経営に関して監査を行い、町民に対して、その公正性を保証するという権限と責任を有しています。そして、それは事務の適正化をはかる上でとても大きな力となります。委員は監査という職責について、どのように考え、どのように監査に取り組もうとされているのかお伺いします。</p> <p>また、不適切事務の再発を防止する観点から、平成29年度決算にかかる監査の方針と重点的に調査する項目などを考えておられて、差し支えなければ併せてお伺いします。</p>	町長 監査委員
<p>(2) ドライブレコーダーについて</p> <p>ドライブレコーダーは、交通事故防止に一定の効果が期待できるとして普及が進んでおり、すでに伯耆町では全ての公用車に導入されていると聞いています。</p> <p>最近のドライブレコーダーは単に映像を記録するのみならず、運転者に運転のアドバイスをするなど、事項防止の機能が向上しています。</p> <p>さらに、万が一の場合は、速やかな事故処理対応の証拠としても採用され、当事者の負担軽減に役立つものとなっています。</p> <p>職員が安心して公用車を業務に使用できるよう、本町でも速やかに導入すべきだと思いますが、町長のご見解をお伺いします。</p> <p>また、現在ドライブレコーダーの普及率は10%余りといわれていますが、先の新潟市で発生した小学生殺害事件では、その映像の提供が呼びかけられるなど「動く防犯カメラ」としての活用が期待されています。防犯カメラの設置が少ない本町においては、町民の安心・安全を守るツールとして、特に有効だと考えますが、普及の切欠として補助金の創設を考えてみてはいかがでしょうか。併せて伺います。</p>	町長



(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質問事項と要旨	質問の相手
<p>(3) 人材育成について</p> <p>私は、町づくりの基本は人づくり・人材育成であると思っています。これは、ほとんどの方がそう思っているんじゃないかと思います。それでは誰が、20年30年後に本町を守り、発展を担っていく人材なのでしょうか。</p> <p>だれか、ほかの地域で育った人が、本気になって、最後までこの町を、地域を集落を守ってくれるのでしょうか。</p> <p>そんな他を当てにするような考え方ではなく、今いる、そして、将来生まれて来る子供たちを、地域の中核となる人材に育て上げることを考えるべきです。</p> <p>まもなく、サッカーのワールドカップ・ロシア大会が開かれますが、初出場するアイスランドは人口が34万人弱の小さな国です。この国のサッカー連盟のとした強化策は5,6歳からの決め細やかな育成プログラムです。</p> <p>長い目で若い力を育てることが、ドイツ、フランス、スペインなどの優勝候補がたどった勝利の方程式であるといわれています。</p> <p>分野は違いますが、町づくりの道も同じだと思います。町のリーダーである町長が、町の組織を結集して育成プログラムをつくり、それに沿った施策を実施して行くことが、今、必要ではないのでしょうか。町長のお考えを伺います。</p> <p>具体的には、町のさまざまな事業、施策において、どのような人材を育成して行くかを基本に置きながら、その計画、実施、評価を行ってはどうかと思いますが、併せて伺います。</p>	町長

(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。



平成 30 年 6 月 4 日

大山町議会議長 杉谷 洋一 様

議席番号 4 番 大山町議会議員 加藤 紀之 印



## 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 40分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
1. スポーツ少年団への加入(登録)について	教育長
<p>5年前、町内で活動するスポーツ団体から「スポーツ少年団に加入したいけど、何故か大山町では認めてもらえない。」という相談をいただきました。詳しく話を聞いたところ、ある競技で既に登録されたスポーツ少年団がある場合、同一競技では新たな加入は認めない、ということのようでしたが、実際には複数の単位団がスポーツ少年団として登録している競技もあり、大変な違和感を感じました。当時の教育長や担当者からも話を聞かせてもらいましたが、何故なのかという疑問に納得のいく説明もなく、やり取りに疲弊してしまった相談者の意向で、その後深く追究することも控えておりました。</p> <p>教育長が代わられたこともあり、再度公的な場で聞いて欲しいということでしたので、今回この場で改めて教育長にお尋ねします。</p>	
<p>○スポーツ少年団へ新たに参加(登録)を希望する団体がある場合、どのように対応していく考えか。</p>	



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。



大山町議会議長 杉谷 洋一様

議席番号 1番 大山町議会議員 森本 貴之

**一般質問通告書**

次のとおり通告します。

(質問予定時間

60分)

質問事項と要旨	質問の相手
<p><b>1. 観光振興について</b></p> <p>訪れた方達の心を癒し、感動を与え、また大山へ来たいと思ってもらうことが大切だと考えます。多くの観光資源を有する本町において観光振興とは、どうあるべきでしょうか。</p> <p>① 地蔵信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市として、日本遺産に認定された本町には歴史的魅力があります。日本遺産を生かした取り組みの現状と今後の新たな取り組み等検討されていますか。</p> <p>② バーガーフェスタへの予算は今年度以降未定となっているようです。今後の検討はどのようにされていますか。</p> <p>③ 山陽地方でも大山信仰が盛んであると聞きます。活動を通じて、地域の歴史や文化に触れる教育的な仕組みを考えてみませんか。</p>	町長 教育長
<p><b>2. ハワイ州との交流事業について</b></p> <p>大山エリアとハワイ州との交流事業が行われています。野球交流、アート、教育、食の各分野で、民間主体で事業が進められています。スケールの大きな事業ですが、本町において、この国際交流をどう考えますか。</p> <p>① この国際交流に求めるものは何だと考えますか。</p> <p>② 国外から多くの来訪者があります。公共施設のトイレの洋式化を検討しませんか。</p> <p>③ この交流事業について、今後どうあるべきだと考えますか。</p>	町長 教育長
<p><b>3. つながりの豊かさ指標への取り組みについて</b></p> <p>住み続けたい、住んでみたい、帰ってきたいと思えるまちづくりをしていかななくてはなりません。人と人とのつながりはとても大切です。</p> <p>① 慶應義塾大学 SFC 研究所との連携による取り組みの現状は。</p> <p>② つながりの豊かさ指標をどのように活用していますか。</p> <p>③ 子育て環境においてもつながりは大切です。子育ての旅が事業見直しで、なくなるようですが、今後新たな取り組み等検討されていますか。</p>	町長 教育長



(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

平成30年6月5日

大山町議会議長 杉谷 洋一 様

議席番号 8 番 大山町議会議員 大森 正治



## 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. さらなる子育て支援のために</p> <p>町長の進める人口減少抑制策として打ち出している子育て支援策は、その効果が今後現れてくるものと期待している。子育て支援をさらに進めるために、提言するものである。</p> <p>一つは、子どもの医療費の一部自己負担金なし、つまり完全無料化である。現在、子どもの医療費助成は全県で、また、本町でも実施されているが、通院費 530 円、入院費 1200 円の自己負担が必要である。これを公費負担として、自己負担なしで安心して受診するというものである。一部自己負担金なしの自治体は全国で 60.5% (2016 年現在) に上っている。</p> <p>二つ目は、国保税算定の「均等割」から 18 歳未満の子どもの分を減免することである。多子家庭ほど負担が重くなる制度は、子育て支援に逆行するものである。子どもの「均等割」減免は全国知事会も国に要請している。国の腰が重い現状において、自治体として実施する価値は十分にある。</p> <p>これらの財源の一つとして、子どもの医療費助成に伴う国の減額調整措置が今年度から未就学児まで廃止になり、その浮いた財源が活用できる。</p> <p>子育て支援は、将来の社会への投資として重要であるが、現在の日本社会の大きな課題である子どもの貧困対策としても重要な施策である。</p> <p>そこで次の点を伺う。</p> <p>(1) 子どもの医療費助成の拡充として、子どもの医療費の一部自己負担金なし(完全無料化)を検討しないか。</p> <p>(2) 国保税算定の「均等割」から 18 歳未満の子どもの分を減免するよう検討しないか。</p>	町長



(注) 的確な答弁がえられるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。  
 質問の相手は、町長、教育長、農業委員長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>2. 政策変更は慎重に</p> <p>「行・財政改革」は職員を減らすばかりが改革ではなく、町行政の様々な事業を精査して無駄な事業を無くすことだろう。しかし、それは容易なことではない。ただ、改革の視点として、その事業が町民のためになっているかどうかを徹底的に考えることが重要ではないだろうか。</p> <p>その立場から、最近、政策変更が打ち出された二つの事業について考えてみたい。</p> <p>一つは家庭保育支援給付金の支給対象の変更である。これは、一昨年度から県の事業を活用して、1歳未満の乳児を家庭保育する場合給付金を支給し、さらに昨年度からは町独自で対象を2歳未満に拡大して支給してきた事業である。ところが、5月初旬の議会全員協議会でこの事業の見直しが説明され、町報6月号には、2歳児への支給は中止するという支給対象変更決定の記事が掲載された。あまりにも“スピード感”があり過ぎると感ずる。</p> <p>今一つは、支所の宿日直の廃止についてである。議会には3月定例会中に初めて説明があった。そして、町民からの意見・要望を聴くために、5月31日付で集落への回覧があった。宿日直の廃止については、現在、検討しているとのことである。町民の声を聴く姿勢は大切なことで評価したいが、今年度中の廃止を前提にしており、存続の余地はない。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 家庭保育支援給付金の支給対象の変更については、保護者等関係者の意向を聞いたのか。これほど早い結論を出された理由は何か。</p> <p>(2) 町民の声を聴いて、その結果によっては支所の宿日直の存続もありうるのか。また、宿日直を請け負っているシルバー人材センターとの協議の状況はどうか。</p>	<p>町長 教育長</p>

(注) 的確な答弁がえられるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。  
質問の相手は、町長、教育長、農業委員長、選挙管理委員長、監査委員等とする。



平成 30 年 6 月 6 日

大山町議会議長 杉 谷 洋 一 様

議席番号 13 番 大山町議会議員 岡 田 聰 印

## 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1 定員適正化計画の状況は</p> <p>平成 26 年 2 月に改正された、第 3 次大山町定員適正化計画では、町民の皆様が求める質の高い行政サービスを提供する事に配慮しつつ、類似団体職員数の状況、人件費の状況などを踏まえ、組織・機構の見直し、事務事業の見直し、民間活力の活用などにより職員数の削減を図る。又、組織としての持続性を維持するために、職員の退職者数等を勘案した上で年齢構成のバランスに配慮した必要最小限度の新規採用を行うこととする。とあるが。</p> <p>(1) 今年 17 名もの多数の採用を必要とした根拠は何か。</p> <p>(2) 改正された当時は、類似団体と比較して 17 人の超過となっていた。人口減少も加味して現時点での比較はどうか。年齢バランスは。</p> <p>(3) 行財政改革の視点からも、これ迄数名づつの採用で推移していたのがいきなり 20 名近い採用は、いかがなものか。(新規採用職員に何ら悪意は無い)</p> <p>(4) 地方分権の進展等に対応するため、あるいは、少子高齢化、人口減少に伴い複雑高度化する地域課題に対応するための、政策形成能力や専門能力の向上など、人材育成が重要だが計画は。</p> <p>以上質します。</p>	町長 教育長
<p>2 役場組織変更（機構改革）事業案について</p> <p>住民サービスの向上と業務の効率化を図るためとして、役場組織変更（機構改革）案が提示された。本来機構改革は公的施策や新たな行政課題に迅速かつ的確に対応するための改正でなければならないと考える。</p> <p>疑問を感じる点があり質したい。</p> <p>(1) 人権社会教育課を分割して社会教育課とし、人権推進室を福祉介護課の中に配置。……これは、「部落差別の解消の推進に関する法律」（平成 28 年）が制定された意義に反するのでは。差別解消のため人権問題に取り組むこと（人権教育や啓発等）が行政の重要課題と謳われているのに。又、昨今は人権問題は社会の中で重要なウエイトを占めている、福祉介護課の中では、外</p>	町長 教育長

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育委員長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。



質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
部から見ても人権問題への取り組み姿勢、熱意が感じられず、人権をおろそかにする町というマイナスイメージを与えると考えるがどうか。	
(2) 商工課の業務が企画課の中に。……これも外部からあるいは、町民から見ても、商工関係には全く力を入れないというイメージを与えてしまうのではないだろうか。商工の名を入れる必要があると考えるが。	
(3) こども課が本家の幼児教育課と遠く離れてしまう、密接な連携が必要であり、離れていては事務効率が低下する懸念は無いか。	
(4) 職員のコンセンサスは十分に取れているか。	

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育委員長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

平成30年6月6日

大山町議会議長 杉谷 洋 一 様

議席番号 9番 大山町議会議員 野口 昌 作 印

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。(質問予定時間 50 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>(一) 農地の貸借手続き関係の見直しを</p> <p>今日の農業情勢は高齢化が進み耕作者が非常に少なくなっており、今後ますますこの傾向が進み、将来農地維持が困難になってくると考えられる。</p> <p>地域を守り農地・農業を守るため、自分が耕作出来なくなった農地は、他の誰かに耕作依頼するしか無い。ここで農地の貸し借りを必ず行わなければならない。</p> <p>農業委員会は、農地の貸借に関し、貸人本人名義でない限り、主な相続権利者の同意が無ければ許可しないこととしている。これでも無許可貸借或いは貸借の停滞を招くことになり、耕作放棄地等を発生させることとなっていると考える。</p> <p>① 耕作放棄地の解消に努力されているが、放棄地の原因並びに面積の動向は</p> <p>② 悪条件農地の耕作に対する農業委員会の考えは</p> <p>③ 本人名義でない土地の相続人同意について、誓約書などで対処できないか。</p> <p>④ 地域の農地を守るため、どのような考えで指導し、将来を展望しているか。</p>	農業委員 会長
<p>(二) 道路標示の塗装直しを</p> <p>道路に標示してあるペンキが消えているところがたくさん見受けられる。交通事故は一瞬の不注意で起きるものであるが、事故が起きてからでは遅い。運転者に注意を喚起する表示の塗装直しが必要と思う。</p> <p>① 道路標示は法的或いは交通対策として、どう対応するよう決められているか。</p> <p>② 町道の道路標示の現状をどう捉えているか。</p> <p>③ 一時停止線だけでも、計画的に再塗装できないか。</p>	町 長





平成30年6月6日

大山町議会議長 杉谷 洋一 様

10番 大山町議会議員 近藤 大介



## 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 危機的な少子化への対応について</p> <p>今年4月に町内で生まれた赤ちゃんはわずか2人で、今年度の出生数の見込みは80人くらいと見込まれている。今後さらに少子化が進むことが懸念される。</p> <p>少子化に歯止めをかけるためのさらに積極的な定住施策の推進とともに、少子高齢化に対応したまちづくりを進めることも必要と考える。</p> <p>1) さらなる定住対策の考えは。新たに町営住宅を整備する考えは。</p> <p>2) 少子化=人口減少が今後、中長期的に本町にどのような影響を及ぼすか、町民参画のもと検証検討する必要があるのではないか。</p> <p>3) 後継者対策、空き家対策、見守り、防災など、少子高齢化による諸問題にコミュニティとしてどう対応するか、町民参画を進めるために、自主組織（地域協議会）ごとの地域活性化計画の策定が必要ではないか。</p>	町長
<p>2. 大山町の教育のあり方</p> <p>平成20年に、大山町教育審議会が「これからの幼児教育のあり方」、「学校教育のあり方」、「社会教育のあり方」について答申してから10年が経過した。</p> <p>この10年の間に、少子化はさらに進み、保育園の入所が低年齢化するなど、町民の意識や社会情勢の変化も見られる。</p> <p>改めて本町のさまざまな教育的な課題を整理し、これからの大山町の教育のあり方について、教育審議会に諮問してはどうか。</p>	教育長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

平成 30 年 6 月 6 日

大山町議会議長 杉谷 洋 一 様

議席番号 5 番 大山町議会議員 大原 広巳 印



## 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
1 少子化対策と育児環境について ①過去5年間の出生数の推移は。 ②在宅育児手当を減らすのはなぜか。 ③子育ての旅事業をやめるのはなぜか。 ④第3子、第4子を増やす多子化対策を考えないか。旧大山町の100万円事業など。	町長 教育長
2 役場支所の当日直廃止案について ①災害時の初動対応に問題はないか。 ②夜間の会議などの対応は大丈夫か。 ③AEDの利用が日中に限られるが大丈夫か。 ④住民に対する説明は十分なされているか。	町長
3 大山開山1300年祭の今後について ①参道市場のすべり出しと物品対応は大丈夫か。 ②イベント時の駐車場対策は十分か。 ③観光局の人員態勢に支障はないか。	町長
4 農業後継者親元就農支援について ①過去の実績と現在の状況は。 ②就農者の配偶者対策は。 ③今後、関係団体と協力して更なる発展のため、協議会を立ち上げないか。後継者の会、農業女子会など。	町長

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。





平成 30 年 6 月 6 日

大山町議会議長 杉谷 洋一 様

議席番号 7 番 大山町議会議員 米本 隆記



## 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 農業公社的な組織は作れないか</p> <p>団塊の世代の方が第一線から離れられ第二の人生に都会からのんびりと農村に移り住む人が多いと聞きます。年配の人だけではなく若い人も、本町に定住し農業をしようとしても、どういった方法で農地を借りるのかわからないではないでしょうか。また、貸す農地が荒れていては作付が出来ませんし、農業に使う農器具を購入しようにもまずはやってみないと実際にどこまでできるのか不安な方もあると思います。そこで非耕作地の管理運営をする団体、農業公社のような組織が作れないものでしょうか。現状のマイスター制度を発展させていく。農地の提供が出来れば定住対策にもなり、耕作放棄地の防止にも寄与すると思いますが町長の考えを伺います。</p>	町長
<p>2. 失語症の認識は</p> <p>失語症とは、脳卒中や脳腫瘍・頭部に受ける外傷などによって、脳を損傷し言葉の機能を損なう高次脳機能障害の一つです。話すだけでなく聞く、読む、書くのそれぞれに影響が残ります。会話は聞こえても意味が判らない。文字が書けない、読めない、話せない。知らない国に一人いる状態と言われています。症状にも軽い方から重症の方までおられますが、重症の方は脳の障害によって他の障害を併発されている方も多くおられるようです。失語症は重い障害でありながらその障害は外見に現れず、身体障害者手帳の交付がされない事も多い事も聞いています。このため、社会の理解や支援が乏しいため社会復帰も難しくなっています。以下の事について考えを問う。</p> <p>② 失語症に対する町長の認識は</p> <p>②町内在住者の把握は出来ているか</p> <p>③災害時の対応については</p>	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育委員長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

平成 30年 6月 6日

大山町議会議長 杉谷 洋一 様

議席番号 2番 大山町議会議員

池田 幸恵



### 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 40 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1, 指定管理施設について</p> <p>町内には山香荘、名和総合運動公園、なかやま温泉などなど様々な施設が指定管理にだされ、施設の目的や特徴を生かした、各企業のノウハウを活かしながらサービスの提供がされていると思います。 指定管理に出された施設への行政の係わりはどうか。</p>	<p>町長 教育長</p>
<p>2, インバウンドに向けて</p> <p>スキー、スノーボード等の大山でのウィンタースポーツ、または登山名和桜マラソンに御幸行列や松明行列などの大山開山 1,300 年事業が開催されていますが、参加者の中に外国人の姿をよく見かけます。 特に今年の名和桜マラソンの参加者は多かったように感じました。 そうした中での受け入れ側としての環境整備はどうか。</p>	<p>町長 教育長</p>



(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

平成30年6月6日

大山町議会議長 杉谷 洋 一 様

議席番号12番 大山町議会議員 吉原 美智恵 印

## 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 介護予防と健康寿命を延ばす取り組みは</p> <p>厚生労働省のまとめによると、今年4月に見直された65歳以上の高齢者が支払う介護保険料の基準額が県内平均6,433円となった。大山町においては、伸び率8.2%で6,417円から6,946円になり、残念ながら県下で3番目の高額となっている。</p> <p>これまで以上に介護予防事業に取り組み、元気な高齢者を増やし、健康寿命を延ばす取り組みが必要ではないか。</p>	町 長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。